

I-8. 平成 29 年度 伝統工芸用具・原材料に関する調査事業

Survey research on tools and raw materials of traditional crafts

キーワード	伝統工芸、用具・原材料、技術、継承、地場産業・地域資源
Key Word	Traditional crafts, tools / raw materials, techniques, succession, local industry and resources

1. 事業の目的

近年伝統工芸品の需要、生産が低迷する中、伝統工芸品の制作に使用される用具や原材料の需要も大きく後退、供給が途絶えるなど用具・原材料の入手困難が深刻化し、伝統工芸品の制作・生産活動や伝承者養成に支障が出ている。その一方では、海外からの観光客の増加等に伴い我が国の伝統工芸品に対する国内外の評価が高まり、伝統工芸品需要層の裾野も広がりつつあり、伝統工芸品の制作、技術の持続的継承、発信が求められている。このためには伝統工芸品の制作、人材養成の基礎となる伝統的な用具や原材料の安定的な供給が必要となっており、伝統工芸品の制作に係る関連技術の内容及びその実情を正確に把握することが重要となっている。

そこで、本調査事業では、伝統的な工芸技術に関する用具・原材料の持続的な供給に資する保護施策策定の検討資料に資することを目的として過去の関連調査報告書等から整理する情報に加え、経済産業省、林野庁、(一財)伝統的工芸品産業振興協会等の協力を得つつ、伝統工芸用具・原材料等に関する各機関の情報を集約し、これをもとに伝統工芸用具・原材料の利用や供給等に関する実情を調査するとともに、これにより得られた成果の活用方法等を検討した。

2. 事業の概要

(1) 事業内容

本事業では、伝統工芸用具・原材料の製造・販売・利用に関わる事業者・利用者等を対象とした実態等の把握のための調査及び得られた情報の活用方法等を検討するための専門家による委員会、データベースの作成等を実施した。

1) 伝統工芸に関する用具・原材料の概要把握(既存調査報告書の情報集約・分析)

これまでに実施された文化庁及び経済産業省委託事業による伝統工芸に関する用具・原材料関連調査報告書をもとに、次の点から伝統工芸に関する用具・原材料の製造、販売、利用の動向及び伝統工芸技術との関連性等の概要を整理、検討した。

- ・調査対象となった用具・原材料の生産・販売・利用者(工芸家、職人等)の抽出・整理
- ・調査対象となった伝統工芸分野と回答された用具・原材料の抽出・整理
- ・各伝統工芸分野における技術・技法と用具・原材料との関係性・必要性の整理
- ・用具・原材料の入手方法、購入・入手先、入手の難易度と問題への対応状況
- ・用具・原材料生産・販売事業者及び利用者の推移と事業経営上の課題
- ・既存調査で得られた成果及び本調査事業で対応すべき事項、内容の整理

以上を踏まえ、新規・追加的に調査すべき事項・内容を抽出・整理し、アンケート、実地調査及びデータベースを構成する情報に反映した。

2) アンケート調査(用具・原材料の生産・販売・利用実態等の把握)

上記報告書等からの抽出に加え、保持団体・保存会、協同組合等の関連団体、伝統工芸士会、伝統的工芸品産地組合等の関連団体等への追加取材等により把握した事業者等を対象に、陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、手漉き和紙、ガラス工芸、その他(撥鏝、截金など)の9分野について調査対象を抽出・特定した。

特定した調査対象に対して、用具・原材料の製造・販売・利用の実態と問題点の把握を目的として、調査項目並びに回答の便、選択肢等を検討し、用具・原材料製造・販売事業者、利用者別に調査票を設計し、特定した調査対象(約 1,500)に対して郵送法によるアンケートを実施した。(アンケート結果は非公開)

3) 実地調査(パイロット調査)(用具・原材料の供給・利用等の実態と問題の詳細把握)

上記アンケート調査・分析結果をもとに、専門家委員会において用具・原材料の安定的確保上の緊急性、重要度等を目安に、実地調査で対象とすべき伝統工芸品目と対象者を検討し、木炭・木灰の生産・製造・販売・利用に関わる 10 者を選定し、現地訪問によるヒアリング調査によりケーススタディ的に実地調査を実施した。

(2) 主な成果

1) 専門家委員会による課題・問題等の検討

アンケート調査・分析結果をもとに、専門家委員会において用具・原材料の安定的確保上の緊急性、重要度等を目安に、実地調査で対象とすべき伝統工芸品目と対象者を検討し、調査により把握した課題・問題等を検討した。

- ・伝統工芸に関する用具・原材料の供給・利用の実態と課題
- ・用具・原材料の利用実態と伝統工芸技術の伝承・継承・人材
- ・用具・原材料の供給経営体の事業継続・経済性の確保
- ・用具・原材料の持続的確保に向けた問題と対応の可能性
- ・本調査で残された課題、今後の調査事業での検討事項

2) 木炭・木灰の生産・供給・利用等の実態と問題の詳細把握

伝統工芸原材料としての木炭・木灰の生産・製造・販売・利用に関わる 10 者を選定し、現地訪問によるヒアリング調査によりケーススタディ的に実地調査を実施し、木炭・木灰の生産・販売、利用の具体的な状況・実情と問題点、問題への対応意向等を詳細に把握し、持続的な用具・原材料確保方策の検討資料として整理・とりまとめた。

また、この詳細な実地調査結果をもとに、将来的な情報活用方法の検討資料並びに持続的な用具・原材料確保方策検討資料を得ることを目的に、実地調査による成果並びに調査の対象や調査項目、調査方法など今後詰めるべき課題をあぶりだし、次年度以降に実施する調査の効果的な調査方法(対象や内容、実施方針等)の検討資料としてとりまとめた。

- ・伝統工芸(対象品目)に関する用具・原材料の生産、供給、利用の実態と問題
- ・伝統工芸技術と用具・原材料の関連性と問題
- ・用具・原材料の過不足状況、生産、供給、利用上の問題、将来的な見通し
- ・問題解決の可能性、問題解決に向けたニーズ・要望
- ・次年度調査方法検討資料のまとめ(対象範囲の検討、供給・利用実態の詳細検討、的確な問題の抽出、持続的用具・原材料確保策検討資料の深化等)

3) データベースの作成

委員会での検討結果を踏まえ、アンケート調査を通じて収集した用具・原材料の製造・販売・利用の実態や供給・確保の状況、問題点、問題への対応状況等について整理、伝統工芸用具・原材料のユーザーに対する円滑な供給のために活用されることを目的としたデータベースを作成した。